

資 料

1. 調査団員・氏名

(1) 基本設計調査（平成 13 年 3 月 15 日～平成 13 年 4 月 13 日）

鈴木 勉	総括	国際協力事業団無償資金協力部 業務第二課
清水 利恭	技術参与	国立国際医療センター
馬島 研	業務主任 / 建築計画	株式会社 山下設計
佐藤 康二	教育訓練計画 / 資聴覚機材	株式会社 山下設計
金 和彦	設備計画	株式会社 山下設計
高草 啓史	機材計画	株式会社 山下設計
福田 幸夫	調達 / 積算計画	株式会社 山下設計
井口 憲彦	通訳	株式会社 翻訳センターパイオニア

(2) 基本設計概要説明調査（平成 13 年 7 月 10 日～平成 13 年 7 月 29 日）

田中 寿一	総括	国際協力事業団無償資金協力部 審査室室長代理
清水 利恭	技術参与	国立国際医療センター
鈴木 勉	計画管理	国際協力事業団無償資金協力部 業務第二課
馬島 研	業務主任 / 建築計画	株式会社 山下設計
佐藤 康二	教育訓練計画 / 資聴覚機材	株式会社 山下設計
金 和彦	設備計画	株式会社 山下設計
高草 啓史	機材計画	株式会社 山下設計
井口 憲彦	通訳	株式会社 翻訳センターパイオニア

2. 調査行程

(1) 基本設計調査（平成 13 年 3 月 15 日～平成 13 年 4 月 13 日）

日 順	日付		調査地	内 容	
				官団員	コンサルタント団員
1	3/15	(木)			・東京発、パリ着
2	3/16	(金)			・パリ発、ダカール着
3	3/17	(土)	ダカール	・東京発、パリ着	・現地建設事情調査及び機材市場調査
4	3/18	(日)	ダカール	・パリ発、ダカール着	・団内打合せ
5	3/19	(月)	ダカール	・日本大使館、JICA 事務所、経済財務省表敬訪問 ・保健省訪問	
6	3/20	(火)	ダカール	・国立保健医療・社会開発学校（ENDSS）表敬訪問及び協議	
7	3/21	(水)	ダカール	・ENDSS にて保健省調査研究教育局と協議	・ENDSS にて既存施設調査
8	3/22	(木)	ダカール	・ダカール大学医学部にて調査 ・ダンテック病院にて調査 ・私立カトリック保健所協会立養成校にて調査 ・私立保健サービス養成校にて調査	・ENDSS にて敷地内インフラ調査 （上下水、電気等） ・保健省営繕局にて協議 ・都市計画住宅省にて法手続き 調査
9	3/23	(金)	ダカール	・ENDSS にて協議 ・ミニッツ原案作成	
10	3/24	(土)	ダカール	・団内打合せ	・ENDSS にて既存施設、機材 調査
11	3/25	(日)	ダカール カオラック	・ダカール発、カオラック着	・収集資料整理
12	3/26	(月)	カオラック デュルベル ティエス	・カオラック医療研修センターにて調査 ・カオラック地方病院にて調査 ・医療機材維持管理技術者養成校にて調査 ・カオラック発、ティエス着	・ENDSS にて既存施設設備調 査 ・保健省総務機材局にて協議 ・市道路管理課にて協議
13	3/27	(火)	ティエス ダカール	・ENDSS 公衆衛生学科（コンボール分校）にて調査 ・ティエス発、ダカール着 ・ENDSS にてミニッツ案協議	・市消防署にて法手続き調査 ・電力省にて協議 ・下水道局にて協議
14	3/28	(水)	ダカール	・欧州共同体（EU）事務所にて協議 ・ENDSS にて協議 ・保健省ミニッツ署名	
15	3/29	(木)	ダカール	・経済財務省ミニッツ署名 ・JICA 事務所、日本大使館に報告 ・ダカール発（鈴木）	・ENDSS にて協議・調査 ・建設・機材調達事情調査 ・市消防署にて協議
16	3/30	(金)	ダカール	・パリ着、パリ発（鈴木）	・ENDSS にて協議・調査 ・建設・機材調達事情調査
17	3/31	(土)	ダカール	・東京着（鈴木）	・収集資料整理 ・団内打合せ
18	4/1	(日)	ダカール		・収集資料整理 ・団内打合せ
19	4/2	(月)	ダカール		・ENDSS にて協議・調査
20	4/3	(火)	ダカール		・ENDSS にて協議・調査 ・建設・機材調達事情調査
21	4/4	(水)	ダカール		・収集資料整理 ・団内打合せ
22	4/5	(木)	ダカール		・収集資料整理 ・団内打合せ

日 順	日 付		調 査 地	内 容	
				官 団 員	コンサルタント団員
23	4/6	(金)	ダカール		• ENDSS にて協議・調査 • 建設・機材調達事情調査 • 高等師範学校にて機材調査 • ダカール発（福田）
24	4/7	(土)	ダカール		• 収集資料整理 • 団内打合せ • パリ着、パリ発（福田）
25	4/8	(日)	ダカール		• 収集資料整理 • 団内打合せ • 東京着（福田）
26	4/9	(月)	ダカール		• ENDSS にて協議 • 建設・機材調達事情調査 • 関税、資材調達手続き等調査
27	4/10	(火)	ダカール		• ENDSS にて協議 • 建設・機材調達事情調査
28	4/11	(水)	ダカール		• ENDSS にて協議 • 大使館・JICA 事務所に報告 • ダカール発（馬島、高草、佐藤、金、井口）
29	4/12	(木)			• パリ着、パリ発（馬島、高草、佐藤、金、井口）
30	4/13	(金)			• 東京着（馬島、高草、佐藤、金、井口）

(2) 基本設計概要説明調査（平成 13 年 7 月 10 日～平成 13 年 7 月 29 日）

日 順	日付		調査地	内 容	
				官団員	コンサルタント団員
1	7/10	(火)			・成田発、パリ着
2	7/11	(水)			・パリ発、ダカール着
3	7/12	(木)	ダカール		・ENDSS にて概要書説明及び協議
4	7/13	(金)	ダカール		・構造設計会社にて協議 ・ENDSS にて概要書説明及び協議 ・消防署、電力省、下水道局にて協議（14:00-）
5	7/14	(土)	ダカール		・測量会社にて協議 ・団内会議
6	7/15	(日)	ダカール		・団内会議 ・団内会議
7	7/16	(月)	ダカール	・ENDSS にて概要書説明及び協議	
8	7/17	(火)	ダカール	・団内会議 ・JICA 事務所、日本大使館にて中間報告及び協議 ・保健予防省、財務経済計画省にて中間報告及び協議 ・ENDSS にて協議	・積算補足調査 ・ダカール発、パリ着（金）
9	7/18	(水)	ダカール	・ENDSS にて概要書説明及び協議 ・ENDSS にてミニッツ案協議	
10	7/19	(木)	ダカール	・ENDSS にてミニッツ案協議	・積算補足調査
11	7/20	(金)	ダカール	・ミニッツ調印（保健予防省及び財務経済計画省） ・JICA 事務所、日本大使館にて調査結果報告 ・ダカール発（清水）	
12	7/21	(土)	ダカール	・ダカール発（鈴木）	・積算補足調査 ・団内会議
13	7/22	(日)	ダカール		・団内会議、資料整理
14	7/23	(月)	ダカール		・ENDSS にて施設・機材につき協議
15	7/24	(火)	ダカール		・ENDSS にて施設・機材につき協議 ・積算補足調査
16	7/25	(水)	ダカール		・ENDSS にて施設・機材につき協議 ・積算補足調査
17	7/26	(木)	ダカール		・ENDSS にて施設・機材につき協議 ・積算補足調査
18	7/27	(金)	ダカール		・ENDSS にて調査結果の報告 ・JICA 事務所、日本大使館に報告 ・ダカール発（馬島、高草、佐藤、井口）
19	7/28	(土)			・パリ着、パリ発（馬島、高草、佐藤、井口）
20	7/29	(日)			・成田着（馬島、高草、佐藤、井口）

3. 関係者（面会者）リスト

(1)基本設計調査

経済財務計画省財務経済協力局 (Direction de la Coopération Economique et Financière, Ministère de l'Economie, des Financière)

M. Daondo DIOP	Directeur, Direction de la Cooperation Economique et Financiere
M ^{lle} . Dioh Aminata BA	Direction de la Cooperation Economique et Financiere

保健予防省 (Ministère de la Santé et de la Prévention)

Pr. Awa Marie Coll SECK	Ministère
M. Ousmane SENGHOR	Conseiller Technique
M. Abdoul Aziz DIOP	Directeur de Cabinet (旧保健省)

保健予防省総務機材局 (Direction de l'Administration Générale et de l'Equipement – DAGE)

M. Amadou GUEYE	Division du Personnel
M. Abdoul Hamid DIOUF	Ingénieur
M ^{me} Awa Ndiaye DIOUF	Ingénieur

保健予防省調査研究教育局 (DERF)

M. Abdou Karim THIAM	Responsable Formation
M. Oumar SY	Chargé de Relations avec Ecoles
M. Zibrahime GUEYE	Directeur de Etude F.P.

セネガル国国立保健医療・社会開発学校 (ENDSS : l'Ecole Nationale de Développement Sanitaire et Social)

Dr. Mandiaye LOUME	Directeur
M. Madior DIOP	Directeur des Etudes de la Formation Academique
M. Ibrahima GUEYE	Directeur des Etudes de la Formation Permanente
M ^{me} . Genevieve SANGA	Chef, Service Admission / Scolarite
M. Taeko NDIANE	Chef de la Section Aide Social
M ^{me} . Aissatou Guèye NDECKI	Chef, Département Etudes de Base en Sciences de la Santé
M. Saco KASSE	Chef du Service Medico Social
M. Amadou SY	Chef du Département d'Etude en Sciences Sociales
M. Issa DIOUF	Chef de la Section Preparateur en Pharmacie
M. Cherif Samba FALL	Chef de la Section Odontologie
M. Abdourahmane KANE	Chef de la Section Infirmier d'etat
M. Cheuf Saueba FALL	Chef de la Section Odontologie
M. Moustaphe DIOUF	Chef du Departement d'Etude Spécialisées
M. Malal KANTE	Documentaliste, Bibliothèque

M ^{lle} . Mariama CISSOKHO	Coordinateur, Imagerie Medicale
M ^{me} . Nene Dior DIENG	Responsable Service Social
M ^{me} . Diarra TOURE	Responsable Infirmerie
M ^{me} . Aita Seye JOHN	Responsable Cellule Informatique
M. Amadou Mansour NDAO	Surveillant Général en Sciences de la Santé
M. Madior FALL	Gestionnaire
M. ElhadJ Amadou. BA	Section Ophtalmologie
M. Youssoupha SOUMARE	Comptable Matière
M. Salion DIEYE	Comptable Matière
M ^{me} . Awa Ndiaye DIOUF	Division des Infrastructures, des Equipement et de la Maintenance

ENDSS 公衆衛生学科コンボール分校 (Section Hygiène Khombole, ENDSS)

M. Oumar KANE	Chef Section Hygiène
M. Madior DIOP	Directeur des Etudes de la Formation Académique
M. Mbaye KANDJI	Surveillance Général
M. Moustapha THIAM	Enseignant

ダンテック教育病院 (Hôpital A. Le Dantec)

Dr. Elhadji Amadou BA	Chef de la Section Ophtalmologie
Dr. Alassane WAD	Médecin-Chef du Service d'Ophtalmologie
Dr. Jean Pierre SALLERAS	Anesthésiste
M ^{lle} . Sall Bineta KA	Chef de la Section Anesthésie-Reanimation

ダカール大学医学部

Dr. Doudou THIAM	Doyen
Dr. Cheikh S. B. BOYE	Vice Doyen
M. Assane CISSE	Secrétaire General

カオラック医療研修センター (Centre Regional de Formation Medicale Kaolac)

Dr. Masserigne NDIAYE	Médecin Chef de Region
M. Ngor NDIAYE	Directeur

カオラック地方病院 (Hôpital Regional Kaolac)

Dr. Victor FANGA	Directeur
M. Cheikh DIOUF	Surveillance Général

医療機材維持管理技術者養成校 (Centre Nationale de Formation des Techniciens en Maintenance Hospitalière)

M. Dione SALIOU	Directeur
M. Diaw MBACK	Surveillance Général
M. Bouma BANGALY	Chef des Travaux

欧州共同体 (Union Europeenne) セネガル事務所

M^{me}. Virginia MANZITTI

Coms.

カトリック保健所協会立養成校 (Association des Postes de Santé Prives Catholiques)

Dr. Cantello LAURA

Docteur

M^{me}. Savadogo SERAPHINE

TSS

私立保健サービス養成校 (Institut Santé Services)

M. Baba KONATE

Enseignant

公共事業省道路資料課 (DTP, Bureau des Données Routiers)

M. Yaya DIATTA

都市計画住宅省地域都市計画課 (Service Regional de l'Urbanisme, Ministère de l'Urbanisme et de l'Habitates)

M. Credor WADE

電力省 (SENELEC)

M. Maritaw NDIAYE

Chef Service HT et Distribution Urbaine

下水道局 (Office National de l'Assainissement du Senegal)

M. Birama NDIAYE

Directeur de l'Exploitation

消防署予防課 (Sapeur Pompier, Prévention)

M. Khalil MBATHIE

在セネガル日本国大使館

飯澤 良隆

参事官

西内 和彦

一等書記官

間瀬 博幸

二等書記官

国際協力事業団セネガル事務所

黒川 恒男

所長

天野 真由美

次長

内島 光孝

所長補佐

小森 正勝

所長補佐

M^{lle}. Aminata Christine NIANE

在外専門調整員

(2)基本設計概要説明調査

1. 保健予防省 (Ministère de la Santé et de la Prévention)

Pr. Awa Marie Coll SECK	Ministère
M. Ousmame SENGHOR	Conseiller Technique

2. 経済財務計画省財務経済協力局 (Direction de la Coopération Economique et Financière, Ministère de l'Economie, des Financière)

M. Daouda DIOP	Directeur
M ^{me} Dioh Aminata BA	Chef de la Division Asie-Moyen-orient

3. 国立保健医療・社会開発学校 (l'Ecole Nationale de Développement Sanitaire et Social)

Dr. Mandiaye LOUME	Directeur
M. Madior DIOP	Directeur des Etudes de la Formation Académique
M. Amadou Mansour NDAO	Surveillant Général
M. Madior FALL	Intendant
M. Abdourahamane KANE	Chef de la Section Infirmerie d'etat
M. Cheuf Saueba FALL	Chef de la Section Odontologie
M. ElhadJ Amadou. BA	Section Ophtalmologie
M. Youssoupha SOUMARE	Comptable Matière
M. Salion DIEYE	Comptable Matière
M ^{me} Aissatou Guèye NDECKI	Chef, Département Etudes de Base en Sciences de la Santé

4. 保健省総務機材局 (Direction de l'Administration Générale et de l'Equipement – DAGE)

M. Abdoul Hamid DIOUF	DIEM / MSP
M ^{me} Awa Ndiaye DIOUF	DIEM / MSP

5. 在セネガル日本国大使館

西内 和彦	一等書記官
間瀬 博幸	二等書記官

6. JICA セネガル事務所

黒川 恒男	所長
天野 真由美	次長
小森 正勝	所員

4. 当該国の社会経済状況

	セネガル共和国
	Republic of Senegal

一般指標					
政体	立憲共和制	*1	首都	ダカール (Dakar)	*2
元首	大統領／アブドゥラエ・ワッド	*1,3	主要都市名	チエス、カオラク	*3
			労働力総計	4,151千人 (1999年)	*6
独立年月日	1960年8月20日	*3,4	義務教育年数	6年間 (年)	*13
主要民族／部族名	ウォロフ族35%、フル族20%、セレ族15%	*1,3	初等教育就学率	71.3% (1997年)	*6
主要言語	フランス語、ウォロフ語、セレ語	*1,3	中等教育就学率	15.9% (1997年)	*6
宗教	イスラム教90%、伝統宗教5%、キリスト教5%	*1,3	成人非識字率	62.7% (2000年)	*13
国連加盟年	1960年9月28日	*12	人口密度	48.23人/km2 (1999年)	*6
世銀加盟年	1962年8月31日	*7	人口増加率	2.7% (1980-99年)	*6
IMF加盟年	1962年8月31日	*7	平均寿命	平均 52.90 男 51.10 女 54.80	*10
国土面積	197.16 千km2	*1,6	5歳児未満死亡率	124 (1999年)	*6
総人口	9,285千人 (1999年)	*6	カロリー供給量	2,418.0 cal/日/人 (1997年)	*10

経済指標					
通貨単位	CFAフラン (Franc)	*3	貿易量	(1997年)	
為替レート	1 US\$ = 718.48 (2001年9月)	*8	商品輸出	904.6 百万ドル	*15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	-1,176 百万ドル	*15
国家予算	(年)		輸入カバー率	2.7(月) (1999年)	*14
歳入総額		*9	主要輸出品目	魚介類、化学製品、落花生製品	*1
歳出総額		*9	主要輸入品目	中間材、食料品、投資材、石油製品	*1
総合収支	106.1 百万ドル (1997年)	*15	日本への輸出	6.2 百万ドル (2000年)	*16
ODA受取額	502.1 百万ドル (1998年)	*18	日本からの輸入	35.7 百万ドル (2000年)	*16
国内総生産(GDP)	4,752.00 百万ドル (1999年)	*6			
一人当たりのGNI	500.0 ドル (1999年)	*6	総国際準備	411.3 百万ドル (1999年)	*6
分野別GDP	農業 17.9% (1999年)	*6	対外債務残高	3,704.9 百万ドル (1999年)	*6
	鉱工業 26.0% (1999年)	*6	対外債務返済率(DSR)	16.1% (1999年)	*6
	サービス業 56.0% (1999年)	*6	インフレ率 (消費者価格物価上昇率)	6.0% (1990-99年)	*6
産業別雇用	農業 男 % 女 % (1996-98年)	*6			
	鉱工業 % (1996-98年)	*6			
	サービス業 % (1996-98年)	*6	国家開発計画	第9次経済社会開発計画 (1996~2001年)	*11
実質GDP成長率	3.3% (1990-99年)	*6			

気象 (1961年～1990年平均) 観測地：ダカール (北緯14度44分、西経17度30分、標高24m)														*4,5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計	
降水量	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0	11.2	60.4	164.7	137.9	40.4	1.0	0.1	419.1 mm	
平均気温	20.6	20.6	20.9	21.4	22.8	25.5	26.9	27.2	27.3	27.4	25.3	22.4	24.0 ℃	

- *1 各国概況 (外務省)
- *2 世界の国々一覧表 (外務省)
- *3 世界年鑑2000 (共同通信社)
- *4 最新世界各国要覧10訂版 (東京書籍)
- *5 理科年表2000 (国立天文台編)
- *6 World Development Indicators2001(WB)
- *7 BRD Membership List(WB)
- IMF Members' Financial Data by Country(IMF)
- *8 Universal Currency Converter

- *9 Government Finances Statistics Yearbook1999 (IMF)
 - *10 Human Development Report2000,2001(UNDP)
 - *11 Country Profile(EIU),外務省資料等
 - *12 United Nations Member States
 - *13 Statistical Yearbook 1999(UNESCO)
 - *14 Global Development Finance2001(WB)
 - *15 International Financial Statistics Yearbook 2000(IMF)
 - *16 世界各国経済情報ファイル2001(世界経済情報サービス)
- 注：商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス表記になる

	セネガル共和国
	Republic of Senegal

我が国におけるODAの実績						(単位：億円)	*17
項目	年度	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		7.30	7.33	10.47	9.51	12.87	
無償資金協力		60.25	31.22	51.55	31.08	45.08	
有償資金協力		7.63		0.68		20.28	
総額		75.18	38.55	62.70	40.59	78.23	

当該国に対する我が国ODAの実績						(支出純額、単位：百万ドル)	*17
項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		9.38	7.12	7.88	8.50	10.16	
無償資金協力		58.14	51.54	18.25	25.67	-1.31	
有償資金協力		5.24	-0.67	-0.74	-0.58	-1.31	
総額		72.76	57.99	25.39	33.59	59.10	

OECD 諸国の経済協力実績 (1998 年) (支出純額、単位：百万ドル) *18					
	贈与 (1) (無償資金協力・ 技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び民間資金(4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	282.4	6.6	289.0	73.9	362.9
1. France	150.2	-7.9	142.3	29.0	171.3
2. Germany	16.6	18.1	34.7	-3.0	31.7
3. Japan	34.2	-0.6	33.6	-0.3	33.3
4. Netherland	14.1	0.0	14.1	0.0	14.1
多国間援助 (主要援助機関)	100.5	110.5	211.0	-19.8	191.2
1. EC			95.7	-1.2	94.5
2. IDA			74.3	0.0	74.3
その他	1.4	0.7	2.1	0.0	2.1
合計	384.3	117.8	502.1	54.1	556.2

援助受入窓口機関 *19
技術協力：経済・大蔵省（開調）、公務・労働・雇用省（開調以外） 無償：経済・大蔵省 協力隊：公務・労働・雇用省

*17 我が国の政府開発援助2000(国際協力推進協会)

*18 International Development Statistics (CD-ROM) 2000 OECD

*19 JICA資料

5. 討議議事録 (M/D)

1) 基本設計調査

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
RELATIVES A L'ETUDE DE CONCEPTION DE BASE
POUR
LE PROJET D'AMENAGEMENT DE L'ECOLE NATIONALE DE
DEVELOPPEMENT SANITAIRE ET SOCIAL
EN REPUBLIQUE DU SENEGAL

En réponse à la requête du Gouvernement de la République du Sénégal (désigné ci-après par "le Sénégal"), le Gouvernement du Japon a décidé d'exécuter une étude de conception de base pour le projet d'aménagement de l'Ecole Nationale de Développement Sanitaire et Social (désigné ci-après par le "Projet"), et a confié à l'Agence Japonaise de Coopération internationale (désigné ci-après par la "JICA") la réalisation de l'étude.

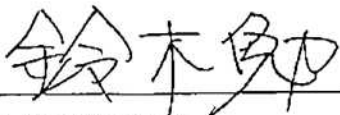
La JICA a envoyé une mission d'étude (désignée ci-après par la "mission") sur place dirigée par M. SUZUKI Tsutomu, Département de l'Aide Financière non-remboursable de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale, pour la période du 16 mars au 11 avril 2001.

La mission a tenu une série de discussions avec les responsables concernés du Gouvernement de la République du Sénégal et exécuté des études sur le terrain nécessaires à la conception de base.

Suite aux résultats des discussions et études sur le terrain, les deux parties ont convenu sur ce qui est mentionné en appendice.

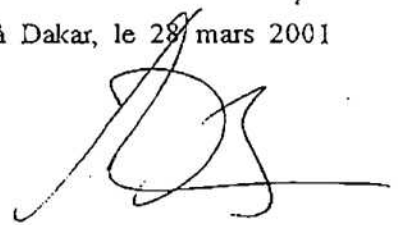
La mission d'étude poursuivra l'étude suivant les points convenus pour l'élaboration du rapport de conception de base.

Fait à Dakar, le 28 mars 2001



M. SUZUKI Tsutomu

Chef de mission
Mission de l'étude de conception de base
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (Japon)



M. Abdoul Aziz DIOP

Directeur de Cabinet
Ministère de la Santé
République du Sénégal



M. Daouda DIOP

Directeur de la Coopération Economique et
Financière
Ministère de l'Economie des Finance et du
Plan

APPENDICE

1. Objectif du Projet

Le présent projet a pour but de renforcer la capacité de la formation du personnel médical dans l'Ecole Nationale de Développement Sanitaire et Social à travers la construction d'un bâtiment scientifique et la fourniture de ses matériels et équipements.

2. Site du Projet

Le Site du Projet est l'Ecole Nationale de Développement Sanitaire et Social (Ville de Dakar). La carte d'emplacement est jointe en Annexe I.

3. Organisme d'exécution

- (1) Ministère de tutelle : Ministère de la Santé, République du Sénégal
- (2) Organisme d'exécution : Ecole Nationale de Développement Sanitaire et Social (ENDSS)

4. Contenu de la requête formulée par le Gouvernement du Sénégal

Après les discussions avec la mission, les détails décrits en Annexe II et III ont été finalement demandés par le Ministère de la Santé. La JICA évaluera la pertinence de la requête pour recommander au Gouvernement du Japon de l'approuver.

(1) Construction des installations

Les installations concernées sont présentées en Annexe II.

(2) Approvisionnement en équipements

Les matériels et équipements concernés sont présentés en Annexe III.

5. Système de la coopération financière non-remboursable du Japon

- (1) Le Ministère de la Santé a compris le système de la coopération financière non-remboursable du Japon tel qu'il a été expliqué par la mission et présenté en Annexe IV.
- (2) Le Ministère de la Santé s'engage à prendre les mesures nécessaires présentées en Annexe V comme condition pour la réalisation de la coopération financière non-remboursable du Gouvernement du Japon.

6. Calendrier de l'étude

- (1) La mission d'étude poursuivra l'étude au Sénégal jusqu'au 11 avril 2001.
- (2) La JICA préparera le projet du rapport de conception de base en français et

enverra une mission pour expliquer le contenu de ce rapport vers le début juillet 2001.

- (3) Si le Ministère de la Santé est d'accord sur le principe du contenu du dit projet de rapport de conception de base, la JICA établira le rapport final pour le soumettre au Gouvernement du Sénégal avant octobre 2001.

7. Autres points majeurs discutés

- (1) Le Ministère de la Santé propose le terrain situé derrière l'amphithéâtre donnant sur le boulevard pour la construction du bâtiment scientifique concerné. La mission explique que le choix du terrain dépend du résultat de l'étude technique du terrain telle que le levé topographique, le sondage géotechnique, etc. et que le Ministère de la Santé s'engagera à prendre en charge, s'il y a lieu, des travaux préparatifs nécessaires tels que le terrassement et autres du terrain concerné avant le démarrage de la construction du dit bâtiment, et le Ministère de la Santé donne son accord à cette explication.
- (2) En ce qui concerne les matériels et équipements demandés par le Ministère de la Santé et qui sont entre autre destinés à être utilisés dans les établissements médico-sanitaires autres que l'ENDSS, la partie japonaise a expliqué qu'ils seraient éliminés de la liste de l'équipement à fournir dans le cadre du présent projet si leur bonne gestion et d'entretien ne pouvait pas être prévu pendant l'étude de conception de base, et le Ministère de la Santé l'a accepté.
- (3) Quant au fonds de gestion et d'entretien des matériels, équipements et installations concernés, le Ministère de la Santé s'engage à le budgétiser dans le cas où ils seraient fournis et construits après l'approbation du présent projet par le Gouvernement du Japon.
- (4) Le Ministère de la Santé demande à la partie japonaise, en tant qu'une des composantes inscrites dans la coopération financière non-remboursable du Gouvernement du Japon, la prestation des services de consultation dans le domaine de la planification de la gestion et entretien du matériel, de la gestion d'exploitation du matériel audiovisuel ainsi que de la gestion financière. La partie japonaise constate cette nécessité.

- (5) Le Ministère de la Santé insiste sur la demande déjà soumise pour l'envoi des cinq
(5) experts japonais à long terme, chacun chargé de l'enseignement en soins
infirmiers, soins obstétricaux, laboratoire, imagerie médicale et audiovisuel
respectivement.

Site du Projet

